

## 《《第11回寄席研報告》》

第11回目の寄席研は6月26日(木)恒例の新宿末広亭で、6月下席屋の部観賞会を開催しました。



今回は人気の若手落語家、林家木久蔵・柳家三三(さんざ)等の出演という事もあってか、開始早々に1階椅子席は満席、座敷席もほぼ一杯となり、早々と2階席も開放されました。今までの寄席研では最高の入りとなり、また客層も従来とは相当異なり若い人の姿が多かったようです。

当会員の参加は、初参加の白井さん、桜井さんを含めて8名で、後から荒木さんも合流されました。

前半は三遊亭歌武蔵(元武蔵川部屋力士)の「無精床」、林家正楽の客のリクエストに応える「紙切り」、鈴々舎馬風(元落語協会会長)の「猫の災難」を楽しみました。

後半はお目当ての林家三三の生業家の若旦那が、素人講釈を語る「五目講釈」を初めて聞きました。先代林家三平の「源平盛衰記」を思い出させるものでした。また代演の柳家喜多八の「荀騷動」も前回とは違って、声に張りがあり聞き応えがありました。屋の部主任は春風亭一朝でした。演目は「天災」で、短気な八五郎が心学の先生から何事も天災と教えられて丸くなるという噺ですが、30分の熱演がチョット長すぎるかなという感じでした。

屋の部終了後、所用で帰られた国友さんを除く8名で、これも恒例の焼き鳥屋・庄助で打上げ会を行いました。まず今回初参加のお二人から久しぶりの寄席の感想を伺い、その後はそれぞれの感想を話し合いました。前回もそうでしたが、落語以外にも漫才(今回出演はにゃん子・金魚とホンキートンク)に興味を持たれた人が多かったようです。

### 屋の部(12:00~16:30)

12時	落語 交互出演 春風亭朝之助・春風亭一蔵	14時	落語 入船亭扇遊 紙切り 林家正楽 落語 鈴々舎馬風
曲芸 ストレート松浦			
落語 林家はつ木			
落語 林家木久蔵			
物まね 江戸家小猫			
13時	落語 古今亭菊太楼 落語 五明楼玉の輔 漫才 丈草風にあん子・金魚 落語 三遊亭歌武蔵	*お仲間*	
		15時	落語 春風亭一左・春風亭朝也 漫才 こいる・順子 落語 柳家三三 落語 古今亭志ん弥
		16時	神楽 鏡味仙三郎社中 屋主任 春風亭一朝

参加者 荒木、伊藤(順)、国友、栗原、桜井、白井、野村、山本、伊藤(徹) 以上 9名 (敬称略)

次回は9月か10月に開催を予定しております。奮ってご参加下さい。

文・伊藤(徹) 写真・荒木